

「動労千葉支援基金運動」に敵対する 動労「本部」反動分子を許すな!

三里塚・ジェット闘争貫徹! 「国鉄35万人体制」粉碎!

デマ「地本情報」(6/21・6月26日)によると、国労上野支部青年部常任委員会がわが動労千葉に対する「支援基金運動」には応じない態度を明らかにしたという。
何ゆえに、わざわざ「国労の支部青年部の常任委員会の態度」なるものをこのようにぎょうぎょうしくも動労「本部」のデッチあげ「千葉地本」情報でとり上げざるを得なかったのか。彼ら動労「本部」津田沼三信ビルは、「動労千葉支援基金運動」が全国のあらゆる階層の労働者、農民、住民、学生、なかでもとりわけ首都圏―東京の国鉄労働者の間で積極的に取り組まれ、拡大していることに焦り、消耗し、何とかこの運動を妨害し動労千葉破壊攻撃を強めようとしているのである。
われわれは、「支援基金運動」への公然たる敵対をくりかえし、「六・一二事件」デッチあげ告訴をもつて権力に対し動労千葉破壊弾圧を要請するまでに墮落し反動化した動労「本部」の鉄労以下の反労働者の暴挙を絶対に許さず、総力をあげて反撃の闘いに決起しなければならない。

全国的に拡大する「支援基金運動」
「動労千葉支援基金運動」は、去る四月三日に発表された大量不当処分攻撃以来、わずか三カ月間という短期間のうちに、全国の職場・地域で取り組まれ、拡大し、六月二〇日現在で、総額一七、六八三、八〇四円の巨額に達し、さらに増えつつづけている。
かつて総評が全力をあげて、全国からの支援運動をとり組んだあの三池の大闘争時にもせまる、この「支援基金運動」のかつてない爆発的な拡大と取り組みの前進は、三月ジェット決戦ストライキに対する全国的な支援・連帯が着実にひろがっていることを示すと同時に、三里塚闘争の正義性・普遍性を示しているのである。

動労千葉破壊攻撃をくりかえす「本部」反動分子
こうした「支援基金運動」の全国的な拡大の中で、唯一敵対し、公然と妨害しているのが動労「本部」反動分子と革マル派のみである。
デマ「地本情報」に引用されている「国労上野支部青年部常任委員会の態度」なる主張によると、①三里塚闘争はセクト集団のみの反動的運動だ。②反対同盟はギリギリ闘争を評価しており、反労働者的。③こうした反対同盟と連帯する千葉動労は労働運動とは無縁。支援できない。④その点に
関し千葉動労が自己批判しない限りカンパはできない。などという「理由」をあげて「カンパに応じないよう」と組合員に反動的タガはめをしようというのである。何という反動的・超右翼的な、政府・公団の代弁者か!
しかし、一読するまでもなく、この「見解」は三里塚闘争と動労千葉への敵対を至上目的とする動労「本部」反動分子の「主張」、すなわち唯一革マル派のみがふれまわっている「主張」そのものであることがすぐわかる。実際、「国労上野支部青年部」といえば、何かとすぐ動労「本部」革マル分子と「共闘」することと知られており、しかも許せないことに一昨年の四月十一日総評青年協集会に向う動労千葉の隊列を錦糸町駅で待ちぶせ襲撃した際にも一部の革マル分子が「個人参加だ」と居なおって動労「本部」革マル分子と「共闘」して襲撃してきた事実をわすれない。「国労上野支部青年部」を僭称し名を汚す革マルを弾劾せよ!
われわれは、三月ジェット決戦ストの際、「B変作業でスト破りをやろう」との動労革マル松崎の提案を国労の仲間が怒りをもって拒否し粉碎したこと、動労「本部」のスト破りと対称的に千葉の多くの職場で国労の仲間が陰に陽にストに協力し闘った事実、多くの職場でカンパ等積極的に協力してくれている事を知っている。悪らつなデマ・デッチあげをもつてする破壊攻撃の一切を粉碎し、支援基金運動―動労大改革運動をさらに拡大し、国鉄労働運動の戦闘的再生にむけて奮闘しようではないか。



第8回国鉄千葉動力車OB会総会

八月動労千葉OB会総会開催される
6月27日13時より、動力車会館において第八回OB会総会が開催された。総会には、会員二五名が出席して、執行委員の司会により新会員が紹介され、穴戸良一会長より「なによりも、懐かしい人会えることが一番うれしい。いま国鉄35万人体制攻撃で年金問題が大きくクローズアップされている。現役も将来OB会員となるのだからこの問題をとりあげて闘ってほしい」とのあいさつがされた。関川委員長より、動労千葉をとりまく
情勢、年金問題等が語られ、杉山栄一事務長から経過報告、会計報告がされて議事に入った。
②来年度はOB会結成一〇周年記念であり、一泊旅行をしたらどうか等と意見が出された。
活動方針では、「支援基金運動」についての取り組みを理解し協力することが決定され、新役員を選出し、成功裡に終了し、その後、懇親会に移り、昔話に花が咲き、和気あいあいのうちに17時終了した。
今年度OB会
新役員
会長：穴戸良一
副会長：長谷川吉之助
事務長：林一男
事務次長：杉山栄一

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!